

学校の様子(1/1)

1/1(金)元旦

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

連日の報道からコロナの感染拡大が大変心配な状況が続いておりますが、2021年も今できることを考えながら迷いながら相談しながら、一つ一つ前に進めていきます。

2021年は丑年です。牛は古くから酪農や農業で人間を助けてくれた大切な動物で、最後まで農作業を手伝ってくれる働きぶりから「我慢」「耐える」「これから発展する前触れ」「芽が出る」などのキーワードがあるようです。2021年もいつも通りとはいかない日々がおそらく続きます。我慢しながら、努力を惜しまずコツコツと、地に足着けて一步ずつ行こう！と初日の出とともに、決意新たに新年を迎えました。

今年の年越しは大寒波の予報で、初日の出は見られないだろうなと思っていましたが、チャレンジはしてみました。すると、雲が広がっているとはいうものの水平線がオレンジ色に明るくなり、初日の出が拝めるかもしれないと期待が高まりました。いよいよ時間だということになって雲が水平線を覆ってしまい、残念ながら初日の出の瞬間は見ることができませんでした。その代わりと言っては失礼かもしれませんが、西の空を見ると、なんとそこにはお月様が太陽の光を受けて白く輝いていました。30日に2020年ラストの満月「コールドムーン」を見て感慨深く感じたところだったので、初日の出ならぬ初お月様に親しみを覚える2021年のスタートとなりました。

その後30分ほど過ぎた頃でしょうか。雲の間から太陽が顔を出し、市が洞小学校をしっかりと照らしてくれました。太陽が温かく見守ってくれているようで、何があっても前を向いて進もうと、改めて決意を新たにしました。

丑年のことを考えていたら、修学旅行で行った北野天満宮のことを思い出しました。「受験の神様」「厄除けの神様」として有名な天神様(菅原道真公)が祭られていて、牛はその「天神様の使い」とされていました。「撫で牛」「願ひ牛」と呼ばれる牛の像を、願ひながら撫でている6年生の皆さんの姿が浮かんできました。小学校生活最後の3か月。充実した日々と感動できる卒業式が迎えられることを願わずにはられません。ともにがんばります！

2021年もどうぞよろしくお願ひいたします。

